

貴社にぴったりの Windows 10 エディション がきっと見つかります。

基本機能

今まで以上に使いやすく、優れた機能

	Home	Pro	Enterprise	Education
カスタマイズ可能なスタートメニュー	○	○	○	○
Windows Defender & Windows ファイアウォール	○	○	○	○
Hiberboot と InstantGo によるすばやい起動 ¹	○	○	○	○
TPM のサポート ²	○	○	○	○
バッテリー節約機能	○	○	○	○
Windows Update	○	○	○	○

Cortana³

自然な言葉を使って口頭や入力で伝える	○	○	○	○
個人的な提案や積極的な提案	○	○	○	○
リマインダー	○	○	○	○
Web、デバイス、クラウドの検索	○	○	○	○
"コルタナさん" と呼びかけるだけで Cortana を自動起動	○	○	○	○

Windows Hello⁴

ネイティブな指紋認識	○	○	○	○
ネイティブな顔と虹彩認識	○	○	○	○
エンタープライズレベルの生体認証セキュリティ	○	○	○	○

作業の同時進行

仮想デスクトップ	○	○	○	○
スナップ アシスト (1 画面で 4 つのアプリまで)	○	○	○	○
複数のモニターの画面にアプリをスナップ可能	○	○	○	○

貴社にぴったりの Windows 10 エディション がきっと見つかります。

基本機能

Continuum⁵

PC からタブレット モードへの切り替え

Home	Pro	Enterprise	Education
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Microsoft Edge

読み取りビュー

組み込みの手描き入力サポート

Cortana の統合³

<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

貴社にぴったりの Windows 10 エディション がきっと見つかります。

ビジネス向け機能

必要不可欠な機能

	Home	Pro	Enterprise	Education
ドメイン参加		○	○	○
グループ ポリシー管理		○	○	○
エンタープライズ モード Internet Explorer (EMIE)		○	○	○
Assigned Access 8.1		○	○	○
リモート デスクトップ		○	○	○
Client Hyper-V		○	○	○
Direct Access			○	○
Windows To Go Creator			○	○
AppLocker			○	○
BranchCache			○	○
グループ ポリシーによるスタート画面の制御			○	○

管理と展開

Home から Education Edition に簡単にアップグレード	○	○		○
Pro から Enterprise Edition に簡単にアップグレード		○	○	
基幹業務アプリのサイドローディング	○	○	○	○
モバイル デバイス管理	○ ⁶	○	○	○
Azure Active Directory への参加と、クラウドでホストされているアプリへのシングル サインオン ⁷		○	○	○
ビジネス向け Windows ストア ⁸		○	○	○
きめ細やかな UX 制御			○	○

セキュリティ

Microsoft Passport ⁹	○	○	○	○
デバイスの暗号化 ¹⁰	○	○	○	○
エンタープライズ データ保護 ⁶		○	○	○
Bitlocker ²		○	○	○
Credential Guard ¹¹			○	○
Device Guard ¹²			○	○

貴社にぴったりの Windows 10 エディション がきっと見つかります。

ビジネス向け機能

Windows as a Service (サービスとしての Windows)	Home	Pro	Enterprise	Education
Windows Update	○	○	○	○
Windows Update for Business		○	○	○
Current Branch for Business		○	○	○
Long Term Servicing Branch			○	

Windows ソフトウェアまたはデバイスの購入

ビジネス向け Windows の購入方法

マイクロソフトでは、ビジネス向けのソフトウェアとデバイスの購入方法をいくつかご用意しています。

複数のソフトウェア ライセンスを購入する方法

複数のソフトウェア ライセンスが必要な場合は、パートナーにお問い合わせください。

複数のデバイスを購入する方法

複数のデバイスの購入を検討している場合は、パートナーを探すか、Microsoft ストアの販売チームに直接お問い合わせください。

- 1 - InstantGo、またはデバイス暗号化 HCK テストに合格したデバイスが必要です。
- 2 - TPM ベースのキー保護には TPM 1.2 以上が必要です。
- 3 - Cortana は、特定の市場でのみ利用可能です。エクスペリエンスは、地域やデバイスによって異なる場合があります。使用するには、Microsoft アカウントが必要です。
- 4 - Windows Hello には、指紋リーダー、照明付き IR センサー、その他の生体認証センサーなど、専用のハードウェアが必要です。
- 5 - タッチ スクリーン機能が必要です。アプリのエクスペリエンスは異なる場合があります。
- 6 - 近日公開予定です。内容は変更される場合があります。[Windows as a service \(サービスとしての Windows\) の詳細はこちらからご確認ください。](#)
- 7 - Azure Active Directory のライセンスが別途必要です。
- 8 - 一部の市場に対して近日公開予定です。内容は変更される場合があります。
- 9 - Microsoft Passport には TPM 1.2 または 2.0 のハードウェア ベースの資格情報/キーの保護が必要です。TPM がない場合、または構成されていない場合は、資格情報/キーの保護はソフトウェア ベースになります。
- 10 - InstantGo、または“デバイス暗号化要件テスト”に合格したデバイスが必要です。
- 11 - セキュア ブートが付いた UEFI 2.3.1 以上が必要です。Intel VT-x、AMD-V、SLAT などの仮想化拡張機能を有効にする必要があります。64 ビットバージョンの Windows に対応し、Intel VT-d、AMD-Vi などの IOMMU が必要です。BIOS Lockdown、デバイス状態構成証明には TPM 2.0 が推奨されます (TPM 2.0 がいない場合はソフトウェアを使用)。
- 12 - セキュア ブートが付いた UEFI 2.3.1 以上が必要です。Intel VT-x、AMD-V、SLAT などの仮想化拡張機能を有効にする必要があります。64 ビットバージョンの Windows に対応し、Intel VT-d、AMD-Vi などの IOMMU が必要です。BIOS Lockdown、Device Guard には TPM 依存がありません。